

☆よきよき授業づくりのポイント☆



引き出したい
子どもの
考えやつぶやき

人権教育の 視点でみると

生徒指導の 視点でみると

特別支援教育の 視点でみると

導入

- 前時までの学習を振り返る。
- めあてをつかむ。

☆**学習意欲や課題意識を高めることができるようにしましょう。**

- ・あれっ、どうしてだろう。
- ・今までと同じところ、違うところがあるよ。

☆**子どもがめあてを確実につかむことができるようにしましょう。**

- ・今日は～が、できるようにがんばろう。

「**学習に参加している**」という実感をもたせることは、**人権が尊重される授業づくりの第一歩**です。

【手立て例】

- 学習中のルールについて確認する
- 学習用具を準備しているか確認する

めあてをつかませることは、「**自己決定の場**」を設定することです。

【手立て例】

- これまでの経験を振り返ったり、五感を使って考えたりする場を設定する
- 選択できる複数の課題を設定する

1時間の**授業の流れが見通せる導入**をすることは、**安心して授業に参加できる雰囲気づくり**につながります。

【手立て例】

- ルール（学習規律）を明確に示す
- 授業の流れをスケジュール化する
- 余分な刺激を排除する

展開

- 学習の見通しをもつ。
- 自分の考えをつくる。

☆**学習課題・方法を選択・決定できる場を設定しましょう。**

- ・この方法でやってみよう。
- ・～すれば、できそうだな。

☆**子どもが自分の考えをつくり、それを表現する言語活動の場を設定しましょう。**

- ・自分の考えをもつ材料を提供しましょう。
- ・自分の考えをもつ時間を確保しましょう。
- ・自分の考えを表す活動を位置づけましょう。（書く活動等）

☆**子どもが自分の考えをつくり、それを表現する言語活動の場を設定しましょう。**

- ・～だと考えるよ。わけは～。
- ・もし～なら、～になるよ。だから～。

学習課題を**自己決定・選択**させたり、**自分の考えをつくらせたり**することは、「**自他の人権を守るための実践行動**」ができる力を育てることにつながります。

【手立て例】

- 選択できる複数の課題を準備する
- 見通しがもてる工夫をする
- 自分の考えを周りに示すことができる工夫をする

学習の見通しを持たせたり、**自分の考えをつくらせたり**することも、「**自己決定の場**」を設定することです。

【手立て例】

- 自分の考えを書く場を設定する
- 学習方法を選択する場を設定する
- 自分の意見を発表する場を設定する

「**焦点化**」「**視覚化**」は、**子どものつまずきや困りを軽減すること**につながります。

【手立て例】

- 活動の順序や方向・内容を具体的且つ明確に示す
- 活動はこまめに切り替え、メリハリをつける
- 活動によって机の配置をパターン化する
- 活動の順序をできるだけ固定化する
- 指示は短く的確にする
- 一時にすることは、一つの作業になるようにする
- スモールステップの指導をめざす
- 絵図やマーク、色分けを有効に使う
- 見て分かる、聞いて分かる手立てを組み合わせる

開

- 考えを交流する。

☆**思考力・判断力・表現力を育てる言語活動の場を位置づけましょう。**

- ・交流の視点をもたせましょう。
- ・考えの見える化（言葉、絵、図、表などで表す）を行いましょ。
- ・比較したり、関係づけたりする活動を通して、子どもの思考をゆさぶりましょ。

☆**個に応じた指導やグループ活動など指導方法、学習形態を工夫しましょう。**

- ・個に応じた助言や手立て、きめ細やかな支援を行いましょ。
- ・適切な学習形態で交流させ、自分の考えを示したり、考えを深めたりすることができるようにしましょ。
- ・意図的にグループやペアを構成しましょ。（同じ考え、違う考えなど）

☆**思考力・判断力・表現力を育てる言語活動の場を位置づけましょう。**

- ・〇〇さんの発表を聞いて、～と思ったよ。
- ・～と～をくらべて、～と考えたよ。
- ・同じところは～、違うところは～、だから～と考えたよ。

☆**個に応じた指導やグループ活動など指導方法、学習形態を工夫しましょう。**

- ・〇〇さんの考えってすごいね。
- ・となりの〇〇さんと話し合っ、～に気づいたよ。
- ・グループで話し合っ～のような考えをつくったよ。

発問、指示、説明等を適切に使い分け、一人一人に届くようにしましょ。

交流活動を位置づけることは、**人権感覚の育成に必要な資質・能力である「想像力や共感性」「コミュニケーション能力」「人間関係を調整する能力」等の力を育てること**につながります。

【手立て例】

- 説明はポイントを絞って、子どもが活動する時間を確保する
- コーディネーター役に徹し、子どもの意見をつなぐようにする

交流活動等を行うことは、「共感的人間関係 (You are O.K.の感覚)」を育成することにつながります。

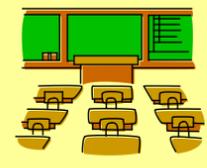
【手立て例】

- 自分の意見を発表する場を設定する
- 交流時の友達の意見のよいところを認めあう場を設定する
- わからないところを協同で解決する活動を設定する
- 発言者に注目するよう促す
- 交流時に友達の意見を傾聴するよう促す
- 子どもの発言をうなずきながら聴く
- 子どもの発言をくり返したり、要約したり、感情を明確化したりする

考えの「**共有化**」を図ることは、**自分の考えを深め、自信を持って発言できるようになること**につながります。

【手立て例】

- 友達の考えや発言を書き留める等の見える化をする
- 話し合いの進め方をパターン化する
- その場ですぐに称賛する



まとめ

- まとめる。

☆**めあてと整合性のあるまとめにしましょ。**

- ・子どもの言葉を生かしてまとめましょ。

☆**学習内容を整理し、定着を図りましょ。**

- ・今日は～が分かったよ。
- ・～のような方法でやると、よかったね。

☆**次時への意欲づけを図りましょ。**

- ・次は～のような学習がやりたいな。
- ・続きを自主学習でやってみよう。

まとめで「**できた**」「**わかった**」と**実感させる**ことは、**人権感覚の育成に必要な成就感や達成感を味わわせること**につながります。

【手立て例】

- 振り返りシートで自他の高まりに気づかせる
- 結果だけでなく、思考過程や学習過程でのよさを認める

整合性のあるまとめをすることは、「**自己存在感 (I am O.K.の感覚)**」を高めていくことにつながります。

【手立て例】

- 分担して学んだ部分を1つにまとめていく活動を設定する
- 子どもの考えを生かしたまとめをする

コンパクトな言葉でまとめ、学習を繰り返すことは、**学習の定着を図ること**につながります。

【手立て例】

- まとめはキーワード化する
- 教科間、単元間、学年間で学習したことを関連づける（スパイラル化）

※ それぞれの☆ポイントは、授業全体を通して行うものもありますが、ここでは、学習過程の中で主に設定する場面に位置づけています。